

女性の健康支援のための社会連携構築シンポジウム (3月5日)



- テーマ:いま日本女性の健康に求められるもの
- 会場:JA共済ビル カンファレンスホール
- 一般参加者:205名
- 総合司会:日本産科婦人科学会女性活躍のための健康推進委員会 委員長 大須賀 穰
副委員長 対馬ルリ子
- 開会挨拶 日本産婦人科医会 副会長 白須 和裕



- 澤 穂希さんによる女性の健康へのビデオメッセージ
- 女性の健康についての総論 ~各世代の課題
「なぜ“女性”の健康支援が必要か ~女性の健康の特殊性とは」
東京大学大学院医学系研究科産婦人科学講座教授 大須賀 穰



- 月経について
「月経とうまく付き合うために」
和歌山県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター病院教授 南 佐和子



女性の健康支援のための社会連携構築シンポジウム (3月5日)

- 妊娠期の栄養摂取について
「妊婦の低栄養と次世代の生活習慣病発症リスク」
早稲田大学理工学術院理工学研究所教授 福岡 秀興



- 女性特有のがんについて
「婦人科がんを早期に発見するために」
がん研有明病院婦人科副部長 宇津木 久仁子



- 女性の更年期・老年期について
「中高年女性の“人生の質”を向上させるために」
対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座院長 対馬 ルリ子



女性の健康支援のための社会連携構築シンポジウム (3月5日)



■ 政界からの提言

参議院議員・自民党女性局長（前厚生労働大臣政務官）高階 恵美子



■ 厚生労働省からの提言

「厚生労働省における女性の健康支援の取り組み」
厚生労働省健康局健康課長 正林 督章



■ 日本医師会からの提言

「成育基本法について」
日本医師会周産期・乳幼児保健検討委員会元副委員長 神谷 直樹



■ 自治体からの提言

「女性の健康における地域支援 ～板橋区の取り組みから見えてきたもの」
板橋区健康推進課女性健康支援係（女性健康支援センター）係長・保健師 石倉 佳世



女性の健康支援のための社会連携構築シンポジウム (3月5日)

■ 経済産業省からの提言

「経済産業省からの提言 ～生涯現役社会の構築を目指して」
経済産業省商務情報政策局ヘルスケア産業研究官 仁賀 建夫



■ 経済界からの提言

「女性の『元気』が、活躍の源泉」
株式会社イー・ウーマン代表取締役社長 佐々木 かをり



■ 市民団体からの提言

「保険者としての女性の健康支援」
一般社団法人保険者機能を推進する会
女性の健康研究会担当理事 鵜飼 雅信



■ 市民団体からの提言

「産みたい女性の、真の『心身の健康』のために、周囲ができること」
NPO法人Fine理事長 松本 亜樹子



女性の健康支援のための社会連携構築シンポジウム (3月5日)

■ 市民団体からの提言

「笑顔で働き続けるために」

株式会社博報堂リーママプロジェクトリーダー 田中 和子



■ 市民団体からの提言

「女性が生涯を通して健康でより良い働き方を実現するために
～女性の視点から考える健康支援」

NPO法人女性の健康とメノポーズ協会 副理事長 宮坂 眞千子



■ 総合討論

座長：対馬 ルリ子、日本産婦人科医会 常務理事 西井 修

〈女性の健康推進宣言2016〉

女性の活躍を支えるのは心身の健康です。

女性の健康はすべての国民の幸福につながります。

私たちは分野を超えて連携し

日本女性の健康を推進します。



■ 閉会挨拶 日本産科婦人科学会 理事 岡本 愛光

